



## 愛知県立旭丘高等学校漕友会会報

第1号 平成 9年 12月 1日 発行

発行者：〒461-0032 名古屋市東区出来町3丁目6の15

愛知県立旭丘高校内 愛知県立旭丘高等学校漕友会

TEL:052-721-5351

FAX:052-723-6825

事務局 e-mail: yyyama@z2.zzz.or.jp 山本芳敬(旭丘27回)

eiichi@japan.email.ne.jp 桑山栄一(旭丘19回)

### 旭丘高校漕友会設立にあたって

60余名のご参加を得て旭丘高校漕友会の設立総会が開かれ、漕友会の再興がなされましたことを心より感謝申し上げます。

長谷川 誠(旭丘7回)

多数のご出席を得て「旭丘漕友会」の設立総会を開催できましたことを心より感謝申し上げます。会長のご指名を受けましたが、現在に至るまでの経過などを含め、私の思いを述べて挨拶に致したいと思います。

まず大前提として、私は、旧制愛知一中端艇部OBを私ども旭丘高校ボート部に席をおいた者の前身であり先輩でありあるいは、親であるとの認識の上に「旭丘高校漕友会」の会長をお受けいたします。

愛知一中端艇部は、明治34年10月1日に発足したと伺っております。只今96歳ということになります。

第二次大戦の戦中戦後の混乱を経、特に昭和24年の学制改革にあっても、端艇部は命脈を断つことなく、時には細々とした活動の時代も含みながらも続いて参りました。

学校所在地から遠く隔たった堀川や中川運河での厳しい練習と、試合の多くは遠征であるという、他の運動部には見られない特徴は、特に、資金的にも大変苦しいものがありました。そういう中で「援助を求める」という旭丘高校とボート部顧問からの要請に応じて、昭和51年5月6日に「愛知一中旭丘漕友会」が設立され発足しました。

爾来、20年にも及ぶ間(初代浅野茂夫会長(一中39回)渡辺昇(一中57回))特に渡辺会長の期間は長く、昭和57年8月には、三重県津高校艇友会との間の定期対抗戦も行われることになりました。そして、愛知一中旭丘高校を通じ、他の運動部OBから羨ましがられるほど、

一中と旭丘が一本になった漕友会の活動が続きました。その間先輩諸氏からの経済的ご援助も並ではありませんでした。



長谷川会長の挨拶



ボート部顧問山本先生の現状説明